

県建築士会支部連絡協議会

会員増強の推進を



今後の支部運営等を話し合った協議会
＝出水市のホテルキングで

16年度県建築士会支部連絡協議会が20日、出水市のホテルキングであり、本部はじめ13支部1分會から会員約180人が参加。会員増強と今後の支部運営等について話し合った。

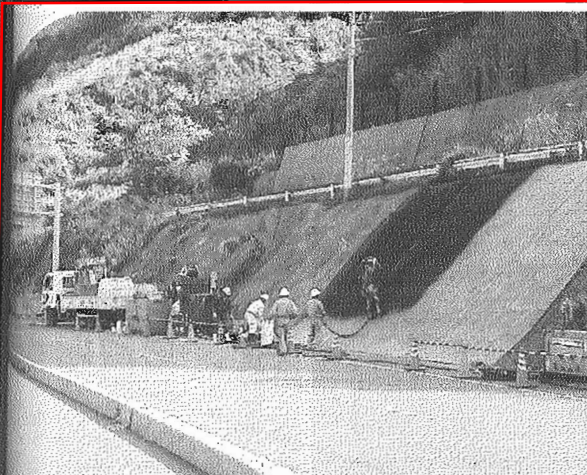
冒頭、開催地の田中秀夫出水支部長が「出水にお出でいただきありがとうございます。すでに1

万羽近くの鶴が飛来、この鶴とともに大歓迎します」と歓迎の挨拶。次いで、川上道夫会長が「建築士を取り巻く環境は課題が山積している。建築事業量は減る一方で、課せられた責務は一層増大。この厳しい状況に打ち勝つためにCPD研修や専攻建築士制度を立ち上げたところだ。会員は活動の原動力であり、会員増強に取り組みいただきたい」と祝辞を述べた。

松浦俊秀専務理事が「松浦俊秀専務理事が財務運営の基本方針やCPD実施、専攻建築士制度の取り組み状況など本部事務局報告を説明。阿多範子女性部会顧問が女性部会活動を報告した。

開会の言葉は表田文雄出水支部長、閉会の言葉は松尾浩一同支部長。司会は田中秀一同支部青年部長。

終了後、意見交換会を開き、次回開催地の久永早苗熊毛支部長、中村重昭同支部長が「大勢で種子島に来てください」と呼び掛けた。



官庁立ち会いのもと行われた試験施工
＝笠沙町の現地で

県内の建設業及び法人業者からなる「環境ネットワーク21鹿児島」研究会（谷和孝会長）は17日、川辺郡笠沙町魚路の現地で東加世田土木事務所との協力・立ち会いのもと、コケの生育データ取得やコケ吹き付けの効果の確認などを目的に「コケ緑化吹付工法」の試験施工を実施し、施工に立ち会った関係者らの関心を引きつけていた。

コケ緑化吹付工法試験施工

環境負荷軽減に効果

砂防ダムの壊堤などにペレットボルトをリサイクルした厚さ1.5センチのコケマットを設置し、コケ種子配合の基礎材を吹き付け育成させることで、構造物の劣化防止や自然景観の蘇生などさまざまな環境負荷軽減の効果が得られる。表面に吹き付けられる植物としては、乾燥に強く直射日光への耐性を強く持ち、長期間水分を与えない場所でも耐えるコケの緑化方法を模索している。

国建設・友基会安全大会

労働安全を再認識



労働者の目線で安全対策を——と挨拶する
下小野田社長＝串良町の町民会館で

国建設（下小野田隆社長）と協力会の友基会（下久保一夫会長）は20日、肝属郡串良町の町民会館で安全大会を開いた。大会には約160人が参加し、交通安全意識の高揚と労働災害撲滅を願い、無事故無災害の労働安全を再認識した。

有村誠一氏（㈱クリモト）の司会で進んだ大会で、下小野田社長が「安全は労働者の目線に立った安全を促進しなければ、薩住会会員や社員ら

労災防止に総意を結集

松尾建設（鹿児島支店）と同社安全衛生協力会（市坪孝志会長）は22日、鹿児島市のベイサイドガーデンで16年度安全大会を開き、関係者ら約60人が出席し、「安全は一人ひとりの積み重ね。みんなが主役の無災害」をスローガンに無災害へ向けた取り組みにまい進することを誓った。

引き続き、安全衛生生活に尽力した2法人と2名が安全大会表彰を受けた。

住友林業鹿児島支店安全大会 無事故無災害の継続を



無事故無災害の継続を呼び掛けた大会。鹿児島市の南日本新聞みなみホールで

冒頭、薩住会の千原弘会長（千原建設（株）社長）が「安全は常に先取りするもの、一人ひとりが責任感を持ち取り組んでいただきたい。また、安全な職場づくりには上下関係はない、安全の原点に立ち戻り、意識の向上を図ってほしい」と開会の挨拶。

鈴木支店長は「協力会社との二人三脚で取り組んできた支店の無事故無災害を誓い合った。

安全管理推進計画が説明された。また、社員代表の波呂進司さんと協力会代表の住吉正さん（㈱住吉建設工業）が力強く安全の誓いを宣言、労働災害防止に総意を結集し、災害のない快適な職場づくりにまい進することを誓った。

このほか、無災害へ向けた取り組みにまい進することを誓い合った安全大会。鹿児島市のベイサイ

ばいけない。管理型から本質型対策への移行だと思えます。いいものを安全第一に造っていくのがわれわれの使命であり、安全なくして企業の繁栄はありません」と挨拶。

下久保会長も「業界も厳しい状況ですが現場でも安全に気配りして頑張っ

続いて、安全表彰があり、国建設社長表彰として隈元貞文一さん（土木）、永吉謙市さん（建築）、友基会会長表彰者として南サンエス総合ビルメンテナンス、南志布志電設、南一松設備を表

彰した。このあと、肝属郡吾平町にある真光寺の平川真龍前住職が「現代社会を生きて」と題して記念講演を行った後、法令講習も行われた。最後に田畑洋一社長（南畑畑興業）が安全コールを唱和し、さらなる安全を誓った。



室長が、災害事例に学ぶとして安全講話、鹿児島徳洲会病院の内山圭救急医療センター係長が災害医療に対してなどの特別講演を行った。

表彰者は次の通り。

安全功労協力業者賞
（有）インアート（久保忠輝社長）（㈱佐藤鹿児島営業所）（吉原一成所長）
安全優秀者賞（安部勝則）（アースト工業（株））戸上武士（南住吉建設工業）